

# Digital Cinema NOW

171

## オスカー作品賞に見るハリウッド事情

川上 一郎

さて、2021年度のおスカー作品賞（作品賞は約8,000人のアカデミー会員全員が投票するために、部門賞とは異なり映画関連メディアでの下馬評が賑やかな賞である）は、米国の隠された一面でもある放浪の車上生活者を描いた“Nomadland”が受賞した。中国出身のChloé Zhao監督による作品がオスカー作品賞を獲得したにもかかわらず、中国メディアが一切報道しないことも話題を読んでおり、中学時代から英国に留学し、その後は米国での高校・大学を経てニューヨーク大学の芸術系大学院で映画を専攻した経歴であるが、米国生活が長いことから中国の共産党体制を批判する発言が目立っていたことが原因ではと報道されている。中国で映画制作の自由化が認められたのは2002年の全人代以降であり、それ以前の中国では北京電影学院卒業生以外は映画を制作することすら認められていなかったことを理解していれば何の不思議も無い中国共産党政権の対応である。なお、映画制作の自由化についても、実際に撮影に入る前には脚本段階での事前検閲制度があり、海外との共同制作作品においても中国共産党政権批判につながる可能性のある脚本内容は一切却下されることから、利益目当てに乗り出したハリウッドもしばしば作品棚上げ・お蔵入りの憂き目に遭っ

ている。

また、現地時間の4月25日に開催されたオスカー賞授賞式も、出演者がマスクなしで登場できるようにロサンゼルスユニオンステーション（大陸横断鉄道の終着駅であり、リトルトーキョーからほど近い）に会場を移して開催されたが、前年の総視聴者数2,360万人から激減し980万人にとどまってしまう。このオスカー賞授賞式の放映権料がアカデミー（全米映画芸術科学アカデミー）の収入源であり、本部やテクニカルコミッティーの入っている建物の維持費や、本年秋に開業予定の映画博物館運営などに暗雲が立ちこめないことを祈るばかりである。

なお、オスカー賞の前哨戦として知られているゴールデングローブ賞についても審査員の人種構成が多様性に欠けるとして、長年受賞式の放送を行ってきたNBCテレビが来年の授賞式放送を見送ると発表し、大きな波紋を呼んでいる。このゴールデングローブ賞は映画業界を専門に取材する外国人記者で作る団体の主催であるが、アカデミーも批判されて旧来は4,000人前後であった会員を人種構成の多様性を図るとして急遽増員を重ねた経緯があるが、ゴールデングローブ賞を運営する団体の場合は

人種多様性への対応が進まないとの見方も強い。

全米の興行売上が対前年度比85%減となる異常事態では、映画館でお気に入りの映画俳優に完成をあげながら作品を楽しむことができているために、従来の映画ファンが会場入りするレッドカーペットや、客席内でのハリウッドスターの顔ぶれを楽しむ喜びが減ったことは否めない。したがって、2022年のオスカー賞授賞式がどの程度まで視聴者数を回復できるかどうかがおスカー賞を運営するアカデミー関係者の最大の関心事となる。全米各州での映画館再開のニュースも流れ出してきてはいるものの、肝心の話題作封切りは全て先送りとなっており、従来のようなオスカー賞の盛り上がりとなるのは早くとも2024年以降となりそうである。

原稿執筆中にもAmazonが90億ドル（日本円換算では9,800億円）を投じて、ライオンマークでおなじみのMGMに買収提案を行ったとの報道が飛び込んできた。「007」・「ロッキー」などのヒット作を抱えているMGM（Metro-Goldwyn-Mayer Studios inc.）は栄枯盛衰を繰り返してきた。

また、巨額投資でワーナーブラザーズグループを買収したAT&Tもワーナーメディアをいったん解散した上で米国のテレビ局であるDiscoveryと統合して新会社設立を発表した。新会社は企業価値1,320億ドルとディズニーに続く全米第2位のメディア企業となりAT&Tが71%の株式を保有し、Discoveryが29%を保有することとなる。

ワーナーメディアの関係者は突然の社長交代や大幅な人員削減等乗り越えて、やっと巻き返しをと考えていた途端にはしごを外される形での新たな再編劇の幕開けとなった。Discoveryとの統合では傘下となるテレビ局の市場占有率が30%超となることから独占禁止法の問題や、系列外への切り離しや、有望チャネルの買収統合も含めて数年は混乱が続くと予想されている。

ネット配信系で独走するNetflix、猛追するDisney+に対して追いつき追い越せとWarnerMediaをいったん解体して再編する荒療治であるが、吉とでるか凶と出るかは映画館が完全に再開し、各社の大型封切り作品が続く2024年以降であると筆者は予測している。

さて、映画業界にとって激動の年となった2021年のオスカー賞作品賞候補作品となった8作品の紹介と、全作品の制作費・撮影クルー人数・撮影日数・ポストプロダクション日数のチャートを紹介していく。

表1に示している“Minari”は、米国に暮らす韓国系アメリカ人の一家がアーカンソン州の田舎に移り住んだ物語である。監督はコロラド州生まれの韓国系アメリカ人であるLee Isaac Chungであり、この作品は監督自身の半自伝的映画とされている。この作品は2020年サンダンス映画祭で審査員大賞と観客賞を受賞し、ゴールデングローブ賞の外国語映画賞も受賞しており、オスカー賞では作品賞以外にも監督賞と脚本賞にもノミネートされている。また、助演女優賞をおばあちゃん役のYuh-Jung Younが獲得している。



制作費:\$2M,撮影クルー:129人,撮影日数:25日,ポストプロ:70日

表1 Minari : 制作 Plan B Entertainment

監督	Lee Isaac Chung
撮影監督	Lachlan Milne
カメラ	ARRI ALEXA mini
レンズ	Panavision P Vintage Lenses
ラボ	Fotokem Creative Service
ネガ	Cfast 2.0
プロセス	DI (2K)/ProRes444 XQ(3.2K)
アスペクト	2.39:1
サウンド	Dolby Digital
作品長	115分
オスカー1部門受賞 各種映画祭で105部門の受賞 211件のノミネート	



制作費:\$20M,撮影クルー:137人,撮影日数:35日,ポストプロ:90日

表2 The Father : 制作 Les Films du Cru

監督	Florian Zeller
撮影監督	Ben Smithard
カメラ	Sony CineAlta Venice
レンズ	Zeiss Supreme Prime & Compact Zoom
ラボ	
ネガ	AXS-R7
プロセス	DI (4K)/C-OCN ST(6K)
アスペクト	2.39:1
サウンド	Dolby Digital
作品長	97分
オスカー2部門受賞 各種映画祭で24部門の受賞 131件のノミネート	

各種映画祭で105部門の受賞と211件のノミネートとなっている。映画の題名である“Minari”は韓国語でセリの意味であり、日本語の“身なり”ではないのでご注意ください。

撮影監督はLachlan Milneで、使用カメラはARRI ALEXA Mini、レンズはPanavision P Vintage Lensesであ

る。現像所は米国唯一のフィルム現像対応ラボであるFotokem Creative Service(この作品はデジタル撮影である)である。撮影メディアはCfast2.0でありProRes444XQ(3.2K)でポストプロのプロセスはDI(2K)となっている。サウンド収録はDolby Digitalで、作品長は115分となっている。制作費は2百万ドルと作品賞候補作品中



監督	Darius Marder
撮影監督	Daniel Bouquet
カメラ	Aaton Penelopes
レンズ	Sigama Cine Lenses
ラボ	Fotokem
ネガ	35mm (Kodk Vision3 )
プロセス	DI (4K)/Techniscope
アスペクト	2.39:1
サウンド	Dolby Digital
作品長	120分

オスカー2部門受賞  
各種映画祭で79部門の受賞  
158件のノミネート

制作費:\$10M,撮影クルー:183人,撮影日数:28日,ポストプロ:140日

表 3 Sound of Metal : 制作 Caviar

いる。また、英国インディペンデント映画賞を含めて 24 部門で受賞している。

監督は Florian Zeller、撮影監督は Ben Smithard が 担 当 し、Sony CineAlta Venice カメラと Zeiss Supreme Prime & Compact Zoom レンズにより撮影されている。収録ネガが AXS-R7 で、C-OCN ST (6K) フォーマットである。撮影はロンドン・ヒースロー空港の北に位置する West London Film Studio と、ケンジントン駅に近い Blyth House で行われた。制作費は 20 百万ドルで、撮影クルーは 137 人、撮影日数は 35 日間であり、ポストプロ作業は 90 日間である。

表 3 に示しているのは“Sound of Metal”で、ヘビーメタルバンドのドラマーが難聴と向き合うストーリーである。オスカー賞では編集賞を Mikkel E.G. Nielsen が、そしてサウンド賞を Carlos Cortes Navarret 等が受賞しておりヘビーメタル好きの映画ファン必見(必聴)である。オスカー賞以外にも 79 の受賞があり話題作であることは間違いない。

撮影は 35mm フィルムの Aaton Penelope カメラで、シグマのシネレンズを使用している。現像はバーバンクの FotoKem で行われ、4K のデジタルインターメディアイトプロセスである。使用されたフィルムは Kodak Vision3 で 50D 5203、250D 5207、500T 5219 の 3 種類のネガが使用されている。

制作費は 20 ミリオンドルで、撮影クルーは 183 人、撮影日数は 28 日と短期間であるが、ポストプロダクションには 140 日を有している。バンド演奏のシーンが多いので音入れが大変そうである。

表 4 に示しているのは“Promising Young Woman”で、医学部を中退した女性が引き起こす復讐劇の物語であり、最優秀オリジナル脚本賞をエメラルド・フェネルが受賞している。オスカー賞以外にも各



監督	Emerald Fennell
撮影監督	Benjamin Kracon
カメラ	ARRI ALEXA mini
レンズ	Panavision G-Series Lenses
ラボ	
ネガ	Cfast 2.0
プロセス	DI (2K)/Dolby Vision/roRes4444(2.8K)
アスペクト	2.39:1
サウンド	DolbyAtmos
作品長	113分

オスカー1部門受賞  
各種映画祭で107部門の受賞  
167件のノミネート

制作費:\$10M,撮影クルー:191名,撮影日数:23日,ポストプロ:200日

表 4 Promising Young Woman : 制作 FilmNation Entertainment

では最も低額である。この低予算を反映しているせいなのか撮影クルーも総数 129 人と少なく 25 日間での撮影となっている。ポストプロダクションも 70 日と短いことから CG シーンはほとんど無く、カット編集と音入れ作業のみと推測される。

表 2 に示しているの“The Father”は、主題となる父親役が希代の名優であるアン

ソニー・ホプキンスである。認知症の症状が出始めている老齢の父を巡る様々な人間関係を巡る物語であり、今回のオスカー賞では主演のアンソニー・ホプキンスが主演男優賞を、そして脚本賞をクリストファー・ハンブトンとフローリアンゼレールが受賞している。英国の映画祭である BAFTA 映画賞を受賞し、当然のことながらアンソニー・ホプキンスが主演男優賞も受賞して



種映画祭で 107 部門の受賞と 167 件のノミネートと話題の作品である。

撮影監督は Benjamin Kracon で、ARRI ALEXA Mini カメラで、レンズは Panavision G-Series を使用している。収録は Cfast2.0 で行い、編集プロセスは DI (2K) /Dolby Vision/ProRes4444 (2.8K) となっている。

表 5 に示しているのは最優秀作品賞を受賞した“Nomadland”である。米国で車上生活を送る現代の遊牧民を主題にした映画であり、ネバダ州北西部の石膏鉱山が大不況により閉鎖され、全てを失った主人公が全財産をはたいて購入したバンで生活する姿を描いている。出演者の大半が実際の車上生活者である。

最優秀作品賞とともに、最優秀監督賞を Chloé Zhao が、主演女優賞を Frances McDormand が受賞している。また、各種映画祭で 227 部門の受賞と 135 件のノミネートを記録しており、インディペンデント作品としては最大の問題作といえる。

なお、石膏鉱山のあったネバダ州エンパイアには Google Map (座標位置 40.58098,-119.34213) で閉鎖された鉱山のモニュメントが残っており、風景写真として見る事ができる。

制作費は 5 ミリオンドルで、撮影クルーは 62 人、撮影日数は 22 日であるが、ポストプロダクションには 500 日を要している。

撮影カメラは ARRI ALEXA Mini と ARRI AMIRA で、Zeiss Ultra Prime レンズを使用している。録画メディアは Cfast2.0 であり、ポストプロの工程は DI (2K) /ProRes4444 (3.2K) である。

なお、アスペクト比は IMAX 向けの 1.90:1 と 2.39:1 となっており、サウンドも Dolby Digital/IMAX 6-Track/DTS/Dolby Atmos と 4 種類であり、音声や字幕のバリエーションを含めると 50 種類を超える組み合わせが存在することになる。

表 6 に示しているのは Netflix 制作の“Mank”で、1940 年の時代背景の中で



監督	Chloé Zhao
撮影監督	Joshua James Richards
カメラ	ARRI ALEXA Mini / ARRI Amira
レンズ	Zeiss Ultra Prime Lenses
ラボ	Harbor Picture Company
ネガ	Cfast2.0
プロセス	DI(2K)/ProRes4444(3.2K)
アスペクト	1.90:1(IMAX)/2.39:1
サウンド	Dolby Digital/IMAX 6-Track/DTS/Dolby Atmos
作品長	107分
	オスカー作品賞等三部門受賞 各種映画祭で227部門の受賞 135件のノミネート

制作費:\$5M,撮影クルー:62人,撮影日数:22日,ポストプロ:500日

表 5 Nomadland : 制作 Cor Cordium Productions



監督	David Fincher
撮影監督	Erik Messerschmidt
カメラ	RED Ranger Hellium Monochrome
レンズ	Leitz SUMMILUX-C Lenses
ラボ	Fotokem nextLAB/Light Iron/PIX System
ネガ	Redcode RAW
プロセス	DI (4K)/Redcode RAW(8K)
アスペクト	2.20:1
サウンド	Mono
作品長	131分
	オスカー2部門受賞 各種映画祭で51部門の受賞 250件のノミネート

制作費:\$25M,撮影クルー:366人,撮影日数:84日,ポストプロ:200日

表 6 Mank : 制作 Netflix.com

オーソンウェルズの名作“市民ケーン”の脚本執筆に携わったアルコール中毒の通称“Mank”が主人公であり、第二次大戦以前の大恐慌時代での映画制作風景を交えながら破滅への道へと進んでいくモノクロ映画作品である。オスカー賞では撮影賞を Erik Messerschmidt が、プロダクションデザイン賞を Jan Pascale と Donald Graham Burt が受賞している。オスカー

賞以外の映画祭でも 51 部門で受賞し、250 件のノミネートとなっている Netflix の話題作である。

撮影は RED Ranger Hellium Monochrome カメラで、Leitz SUMMILUX-C レンズを使用し Redcode RAW による 8K 収録である。ラボは Fotokem NextLAB と Light Iron、PIX System が行っている。



監督	Aaron Sorkin
撮影監督	Phedon Papamichael
カメラ	ARRI ALEXA LF/ARRI ALEXA Mini LF
レンズ	Panavision C-&T-Series, Canon K35 Lenses
ラボ	Company 3/EC3
ネガ	Codec
プロセス	ARRI RAW(4.5K)/DI(4K)/Panavision Anamo
アスペクト	2.39:1
サウンド	Dolby Digital
作品長	129分
	オスカー6部門ノミネート 各種映画祭で55部門の受賞 179件のノミネート

制作費:\$35M,撮影クルー:442人,撮影日数:36日,ポストプロ:190日

表7 The Trial of the Chicago 7 : 制作 Dreamworks Pictures



監督	Shaka King
撮影監督	Sean Bobbitt
カメラ	ARRI ALEXA LF / ARRI ALEXA Mini LF
レンズ	ARRI DNA LF Lenses
ラボ	Company 3
ネガ	Codex
プロセス	ARRIRAW(Source format 4.5K)/DI (4K)
アスペクト	2.39:1
サウンド	Dolby Atmos
作品長	126分
	オスカー2部門受賞 各種映画祭で34部門の受賞 50件のノミネート

制作費:\$26M, 撮影クルー:343人, 撮影日数:42日,ポストプロ:390日

表8 Judas and the Black Messiah : 制作 BRON Studios

制作費は25ミリオンドルとNetflix作品では平均的な金額であり、撮影クルーも366人、撮影日数84日、ポストプロは200日であり、Netflixの典型的な制作スタイルといえそうである。

表7に示しているのは“The Trial of Chicago 7”で、1968年にシカゴで開催された民主党大会での暴動を巡る物語であ

り、当時の黒人過激派組織であるブラックパンサー党のリーダーやベトナム戦争反対のイッピー等の7人が起訴された事件を背景にしている。

米国ではトランプ大統領選出時の白人優位主義者台頭や、新ブラックパンサー党の出現など人種対立を巡る事件は頻発していることから関連する映画作品も多数制作されている。

オスカー賞では5部門にノミネートされており、その他の映画祭で55部門の受賞と179件のノミネートとなっている。

撮影はARRI ALEXA LFとALEXA Mini LFであり、ハリウッドでの定番撮影カメラの組み合わせとなっている。使用したレンズはPanavision C&T-SeriesとCanonK35である。収録はCodecが使用され、Company3とEC3がラボを担当している。

制作費は35ミリオンドルで、撮影クルーは442人、撮影日数36日でポストプロは190日となっている。

表8に示しているのは“Judas and the Black Messiah”で、1960年代に最も過激な活動を行っていた黒人過激派組織のブラックパンサー党に潜入捜査官として送り込まれた少年の物語である。

オスカー賞では助演男優賞をDaniel Kaluuyaが、オリジナルソング作曲賞をH.E.R./Tiara Thomas/D’Mileが受賞している。その他の映画祭でも34部門の受賞と50件のノミネートとなっている。

撮影はARRI ALEXA LFとALEXA Mini LFカメラを使用し、レンズはARRI DNA LFである。

CodexによりARRIRAW(4.5K)で収録し、Company3がラボを担当している。制作費は26ミリオンドルで、撮影クルーは343人、撮影日数42日であり、ポストプロは390日である。

図1はY.M.Cinema Magazineによるオスカー賞での作品賞ノミネート作品の比較チャートである。

ミリオンドル(1ドル=¥110換算では1億1千万円)での制作費と、撮影クルー人数、撮影日数、そしてポストプロダクションの作業日数を作品ごとに集計しているチャートであり、ざっくりと作品の制作規模を比較するにはわかりやすい表示である。

米国での映画撮影は撮影クルーの様々な職種ごとに最低賃金や現場への送迎、食事

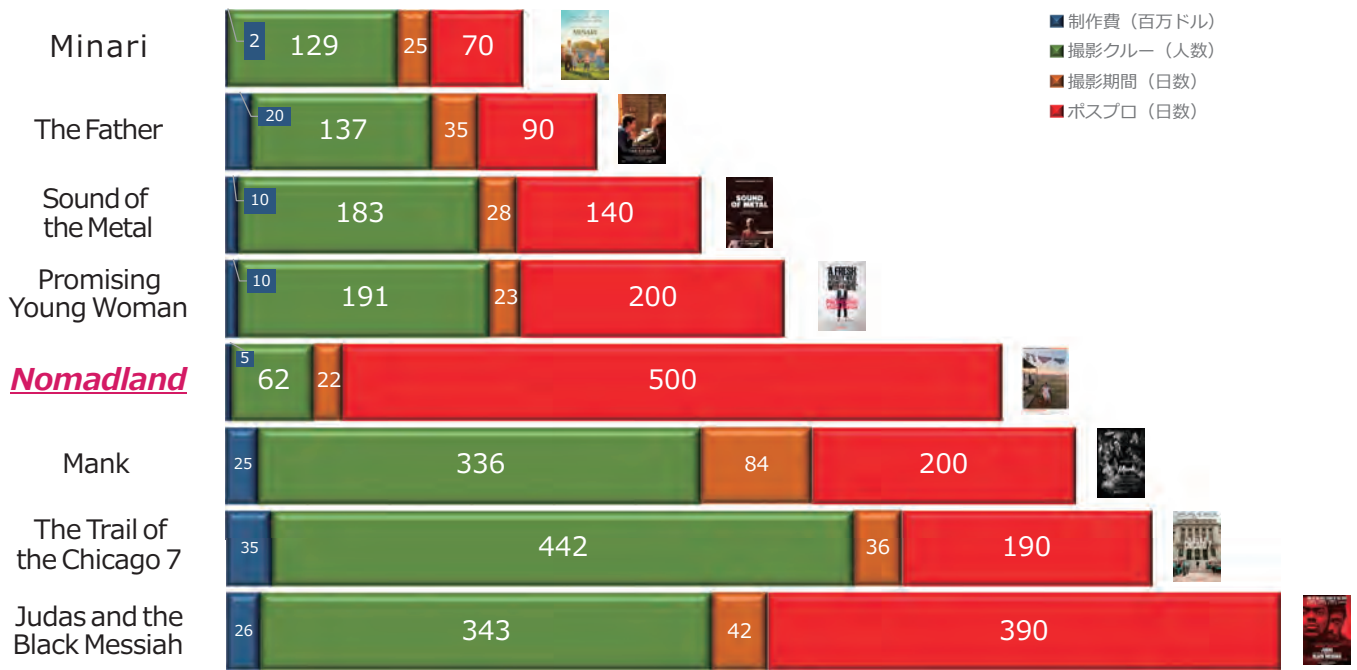


図 1 オスカー 2021：作品賞のノミネート映画比較チャート

の提供などが規定されているので撮影クルーが数百人規模で郊外の撮影ともなるとキッチンカーの手配も含めてロケーションマネージャーは激務となってくる。

作品賞を受賞した“Nomadland”はポストプロダクション日数が500日と際立って長く、わずか22日間での撮影素材をここまで時間をかけて編集作業をおこなったこだわりについては実際に映画館で鑑賞してみたいと感じさせられる。

**引用文献**

- ・オスカー賞の作品賞候補作品の各種情報についてはIMDBpro (<https://pro.imdb.com>) による
- ・比較チャートは2021/5/8“Oscars 2021's Best Picture Nominees Figures: Budget,Crew,Production, and Post-Y.M.Cinema-News & Insights on Digital Cinema”による。
- ・各候補作品の詳細データは

<https://blog.frame.io/2021/04/26/oscars-2021-workflow-roundup/>が取材している。

- ・ワーナーメディア関連の情報はVarietyほかの米国映画関連メディアに基づいている。

**Ichiro Kawakami**  
デジタル・ルック・ラボ

## ますます多様化するフィールドで応える 柔軟さと確実性

**エンベデッドオーディオならびにデジタルオーディオのフェーダーコントロールによる直感的なレベル調整**

- 接点タリー入力によるフェーダーミュート動作
- エンベデッドオーディオのリマッピング機能
- フェーダーの動作モード(フェーダー/カフ)切換
- 5.1ダウンミックスとステレオミックス機能
- 各チャンネルごとにPFLモニター可能
- モニタースピーカー内蔵
- ヘッドフォン出力装備

## HF-02

3G/HD/SD-SDI+ デジタルオーディオフェーダーボックス  
税抜価格 ¥490,000

**FB**  
FourBit

株式会社  
**フォービット**

〒358-0014  
埼玉県入間市宮寺 2720  
TEL : 042-934-7720  
FAX : 042-934-5664  
TEL : 042-935-0551 (営業部直通)  
URL : <http://www.fourbit.co.jp>